

ゼオンサイディング®



施工マニュアル

〈2019年10月〉

ゼオン化成株式会社

目次 INDEX

ゼオンサイディング® 新シリーズGRAYNE®(以下、ゼオンサイディング® グレインと表記します)は、本マニュアルをよくお読みの上ご使用ください。本マニュアルは、ゼオンサイディング® グレインシリーズの施工のみに適用されます。また、本マニュアルは施工後も大切に保管し、必要に応じてお読みください。

I. 施工にあたっての注意事項

1 法令順守に関わる注意事項	3
2 安全上の注意事項	3
3 一般的注意事項	3
4 保管上の注意事項	3
5 使用上の注意事項	4
6 施工上の注意事項	4
7 その他の注意事項	4

II. 製品仕様

1 製品仕様表	5
2 ゼオンサイディング® グレイン用下地部材仕様表	5
3 本体箱の開封方法	5
4 製品使用例	6

III. 部材拾い出し

1 本体の計算	7
2 役物の計算	7

IV. 使用する工具

1 一般工具	9
2 専用工具	11
3 ビス・釘・ワッシャー	12

V. 下地処理

1 既存壁又は下地構造の確認	13
2 障害物の撤去	13
3 付帯工事	13
4 不陸がある場合	13
5 防水工事	13

VI. 施工方法／本体と役物

1 出隅と入隅の取り付け	14
2 スターターの取り付け	14
3 Jチャンネルの取り付け	15
4 トリムの取り付け	17
5 本体の施工	18
6 重ね張りの割り付けとビス留めの補充	19
7 開口部下への取り付け	20
8 開口部下及び水平軒下への取り付け	21

VII. 特殊加工

VIII. サイディング材の取り換え

サイディング施工自己診断チェックリスト

I 施工にあたっての注意事項

🚫 禁止 1 法令順守に関わる注意事項

- ① 建築基準法、消防法等の法令や地域地方条例等で禁止されている部位、用途へのゼオンサイディング® グレインの使用を禁止します。
- ② ゼオンサイディング® グレインは、防火構造の認定を取得していますが、定められた構造、材料以外での認定の使用を禁止します。弊社の取得した認定と構造、材料が異なる場合は、各地の建築指導課建築主事への相談、承認を受けて下さい。
- ③ 施工端材の処分を必要とするゼオンサイディング® グレインは、一般廃棄物としての廃棄を禁止します。廃棄物の処理及び清掃に関する法律や各地地方条例等に従い、産業廃棄物として処理して下さい。
- ④ 「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」等に対し、ゼオンサイディング® グレインは「まもりすまい保険（住宅保証機構（株）」、「あんしん住宅瑕疵保険（株）住宅あんしん保証」等）に加入することが可能ですが、同保険の免責内容での施工等においては、同保険の適用を受けることができません。ゆえに同保険の施工基準に反する施工等や虚偽の申告等を禁止します。
また、申請に際しては弊社が受けた確認書の添付が必要となります。同資料については弊社までお問い合わせ下さい。

⚠️ 警告 2 安全上の注意事項

- ① 強風、雨天、降雪時の高所作業は中止して下さい。風であおられたり、雨や雪で滑るなど落下事故の危険性があります。
- ② 高所作業は関係法規に従って下さい。事故の原因となります。
- ③ 高所作業をする場合は必ず足場を設けヘルメットを着用し、安全帯を使用して下さい。
- ④ 電動式鋸を使用する時は必ず安全眼鏡、その他適切な保護具を使用して下さい。
- ⑤ 持ち運びの際や、施工時、加工時にサイディングの端部や切断用工具で手を切る恐れがありますので、必ず手袋を着用して下さい。
- ⑥ 安全管理については、施工者の責任で、安全規則、就業心得を遵守して下さい。
- ⑦ よこ張り製品を縦に、たて張り製品を横にして使用することはできません。
- ⑧ 製品本体、役物、関連部材は、焚き火の近くや60℃以上の熱気を近づけないで下さい。火災の原因となる場合があります。

⚠️ 注意 3 一般的注意事項

- ① 石をぶつけるなど衝撃を与えないで下さい。また冬季に屋根からの落水やつららなどにより衝撃が与えられると、製品が破損する場合がありますので、事前に落水を防ぐ工事を行うか、養生などの対策を行なって下さい。また万が一破損した場合には、速やかに補修を行ない、怪我の防止と雨水の侵入を防ぐ処理を行って下さい。
- ② 強風が想定される場所への使用に際しては、ビスにワッシャーを併用してそのピッチを狭くするなどの風対策を必ず行って下さい。しっかりと施工を行なわないと強風で剥がれて飛ぶ恐れがありますので、施工に際してはゼオンサイディング® グレイン施工マニュアルを充分にご覧頂いた上で、該当場所の環境、条件に合った適切な施工を行って下さい。なお、強風によりゼオンサイディング® グレインが剥がれた場合は、当社の保証の対象外ですので、ご了承下さい。
- ③ 特に新築時において胴縁下地を使用せずに直張り施工を行う場合には、必ず下地の防水処理をしっかりと行って下さい。
- ④ 冬期等に本体の伸縮により、音が発生する場合がありますが、製品には問題がありません。
- ⑤ 施工に際しては必ずゼオンサイディング® グレイン施工マニュアルをご覧ください。また不明な点がございましたら弊社までお問い合わせ下さい。
- ⑥ 標準色もしくは標準在庫品は弊社で在庫販売しているものですが、突発的な物流事由や受注集中等により、在庫商品が無くなる場合があります。予めご了承下さい。なお、ご注文に際しては、事前に在庫及び納期の確認をお願いします。
- ⑦ ゼオンサイディング® グレインは外装化粧材であり、返品はお受けしておりませんが、万が一製品不良を発見した場合には、速やかにご連絡いただきますようお願いいたします。その際には商品状況を確認の上、交換、返品等の対応をいたします。
- ⑧ ゼオンサイディング® グレインに関する製品保証の内容及び範囲は、別紙の「品質保証書」に記載しています。必ず内容をご確認下さい。なお、施工完了日や販売店名、施工業者名等必要事項の記載なきもの及び、弊社確認印の無いものなど付属の「ゼオンサイディング® グレイン工事証明書」に記載し、当社に提出なき場合は無効となり、保証の対象外となります。予めご了承下さい。

⚠️ 注意 4 保管上の注意事項

- ① 直射日光が当たる場所や、60℃以上になる場所に保管しないで下さい。製品が変形する恐れがあります。
- ② 平坦な場所に保管し、製品や箱の上に重い物（100kg/m²程度以上）を置かないで下さい。製品が変形する恐れがあります。

**禁止**

取り扱いを誤ると、法令により処罰されることがあります。

**警告**

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

**注意**

取り扱いを誤ると傷害を負う危険や物的損害などの可能性が想定される場合の表示です。

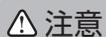
- ③ 荷崩れしないように積み重ねは4段以上にしないで下さい。製品が変形したり、荷崩れすると危険です。
- ④ 火気は近づけないで下さい。
- ⑤ 工事中など炎天下で、製品を立てかけないで下さい。製品が変形するのみならず、倒れると危険です。

**注意****5 用途上の注意事項**

- ① 建物の外装材(サイディング)以外の用途に使用しないで下さい。
- ② 高温の排気付近に使用しないで下さい。
- ③ 給湯機器やその配管まわり、また2階の鋼板屋根からの立ち上がり部分等、温度が70℃以上になることが想定される場所からは、10～15cm離して施工して下さい。
- ④ 汚れは中性洗剤と水を使い、有機溶剤は使用しないで下さい。製品表面が溶けたり色落ちする場合があります。

**注意****6 施工上の注意事項**

- ① **ゼオンサイディング®** グレインは塩ビ樹脂製ですので温度による伸縮があります。施工に際してはこの施工マニュアルを充分にご覧頂き製品の伸縮を見越して正しく施工して下さい。
- ② 製品の伸縮を妨げないように、原則としてシーリング材は使用せず、又、ビス・釘は必ずビス穴部(長穴)の中央部に打ち、同時にビス頭がサイディングビス穴部の折り返し部表面に接する程度に留めて下さい。その後、必ず両手を添えて左右に力を入れ製品が長穴に沿って動くことを確認して下さい。
- ③ 通気や換気の為にもガス、水道管、電気配線等の障害物以外の所には絶対にシーリングをしないで下さい。
- ④ 機械及び治具の扱いは各々の説明書に準じて正しく使用して下さい。

**注意****7 その他の注意事項**

- ① **ゼオンサイディング®** グレインは塩ビ樹脂製のため、若干の寸法や色の違いがあります。また夏場、冬場の温度差によっても若干の寸法の違いが発生します。従って施工に際しては製品ごとの色の違いや寸法、形状等を確認頂き施工時には、水平器を使用したり事前に製品寸法を確認するなど充分にご注意下さい。
- ② **ゼオンサイディング®** グレインの品質保証は、本体のみを対象に「均等に日光に曝された同一壁面での、表面塗装の剥離、剥落、部分退色」並びに「納入時における変形、割れ、欠け、異常変色」に関してのみの保証であり、施工も含めた保証ではありません。したがって、施工に関しては十分にこのマニュアルをご理解いただき、巻末の施工自己診断チェックリストを使用し、正しく施工して下さい。品質保証書は正しく施工されていることをご申告いただいたうえで発行いたします。
- ③ 透湿・防水シートおよび、防水等で必要な個所に最小限使う時のコーキングについては、各製品のメーカーの施工要領に従ってください。これらの施工要領に従わない施工をした場合は、**ゼオンサイディング®** グレイン製品の保証が適用されない場合があります。
- ④ **ゼオンサイディング®** グレインは2019年9月現在、準防火地域、並びに22条地域での防火構造の個別認定を取得しております。新築に際しては当社の防火認定内容をご理解頂いた上でご使用下さい。
- ⑤ 現場廃材は産業廃棄物になりますので「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」または各自治体の指導に基づき廃棄して下さい。
- ⑥ **ゼオンサイディング®** グレインは外装化粧材としての取り扱いを行っていることから、現場での余剰材料も含めて返品は一切お受けしておりません。ご注文に際しては十分に必用量並びに色、柄等をご確認頂いた上でご発注頂きますようお願い致します。
- ⑦ 住宅のデザインは千差万別です。この施工マニュアルに記載していない部位があって、その納め方が不明な場合には、弊社にご相談下さい。
- ⑧ 本マニュアルは弊社のこれまでの経験に基づく通常条件での施工マニュアルであり、建物の構造、下地条件、環境条件や各地域の気候の違いなど、全ての条件に適用できるものではありません。従ってこの施工マニュアルによって施工の保証をするものではありません。

II 製品仕様

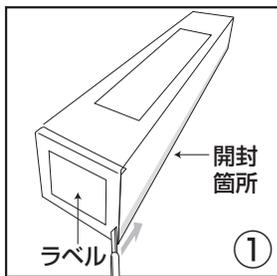
1 製品仕様表

品名	シリーズ	長さ	働き巾	面積	梱包枚数	重量
本体	グレイン	1,543mm	190.5mm	0.294㎡	32枚/箱	25kg/箱
出隅	ニューカラースケープ ウインドロック240 ロイヤルよこ張り ロイヤルたて張り の各シリーズ共通	3,050mm	—	—	10本/箱	16kg/箱
入隅		3,050mm	—	—	10本/箱	10kg/箱
Jチャンネル		3,810mm	—	—	40本/箱	23.8kg/箱
トリム		3,810mm	—	—	40本/箱	18kg/箱
スターター		3,810mm	—	—	40枚/箱	29.5kg/箱
コーナーキャップ		—	—	—	50個/箱	—

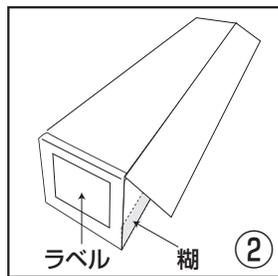
2 ゼオンサイディング® グレイン用下地部材仕様表

品名	規格	梱包
透湿・防水シート	巾1,000mm × 長さ50m	4本/箱
気密テープ	巾50mm × 長さ20m	5本/箱
気密パッキン	巾15mm × 厚み10mm × 長さ3m	5本/箱
ビス(32サイズ)	頭径 11.8mm 胴径 4.2mm 長さ 32.0mm	5,000本/箱
ビス(41サイズ)	頭径 11.8mm 胴径 4.2mm 長さ 41.0mm	5,000本/箱

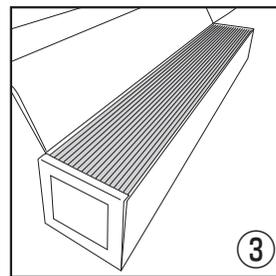
3 本体箱の開封方法



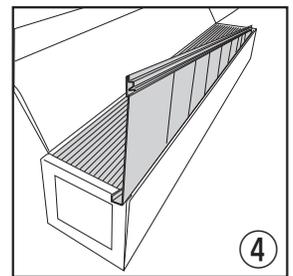
箱の側面に貼ってあるラベルで天地を確認してください。



上蓋は中箱に糊で接着されているので必ず防護手袋等を着用して剥がしてください。



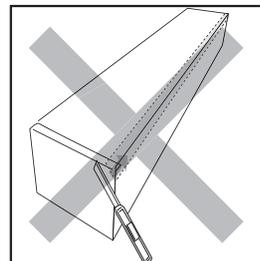
上向きに開封してください。



本体を取り出してください。



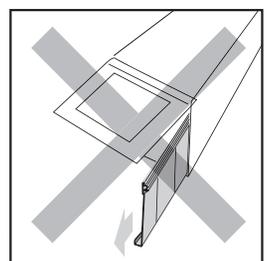
カッター等を使う場合は手などを切らないよう注意してください。



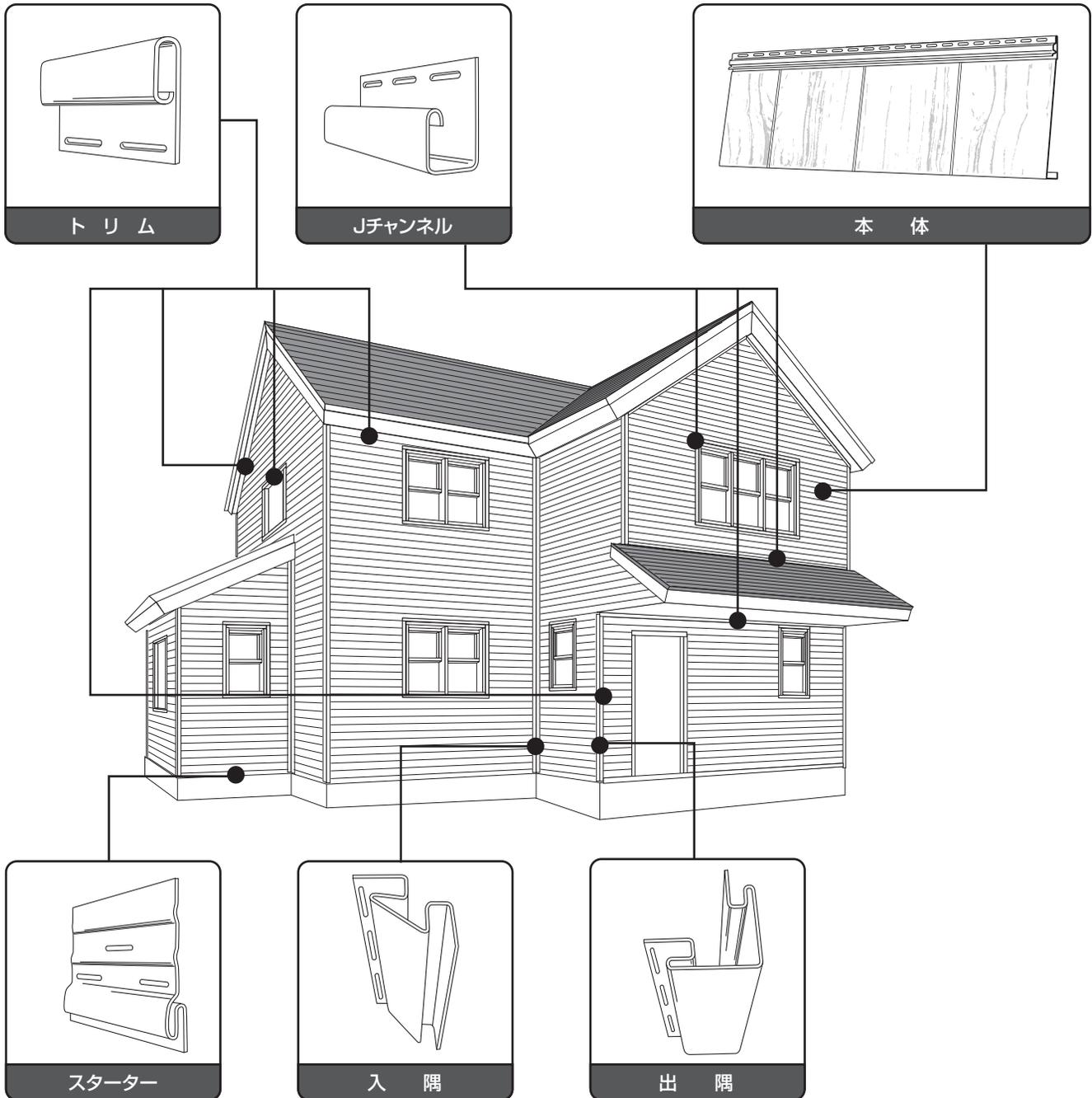
カッター等で梱包箱の角を面取りするように切り取って開封すると本体を傷つけますのでお止め下さい。



箱の側面を開封して本体を引き出すと表面塗装を傷つける場合がありますのでお止め下さい。



4 製品使用例



製品使用例図の各部材の縮尺は異なります。
部材の拾い出しは、P7、P8を参照下さい。

Ⅲ 部材拾い出し

1 本体の計算

①壁面部の積算

●外壁面積100㎡以下の場合は…外壁面積 × 1.05(係数) = ㎡ × 1.05 = ㎡ → 面積

●外壁面積 200㎡以下の場合は、
…(外壁面積 - 開口部面積) × 1.05(係数) = (-) × 1.05 = → 面積

●外壁面積 200㎡以上の場合は…外壁面積 = → 面積

②必要枚数

…面積 ÷ 使用シリーズ面積 = (㎡) ÷ 0.288(㎡) = 枚

※1. 必要枚数の小数点以下は切り上げて下さい。



・グレイン本体の面積0.294㎡(長さ1543mm)は、タブを含めた数値です。必要枚数を割り出す際の面積は、タブを差し引いた面積0.288㎡(長さ1510mm)を使用して下さい。

2 役物の計算

①Jチャンネル

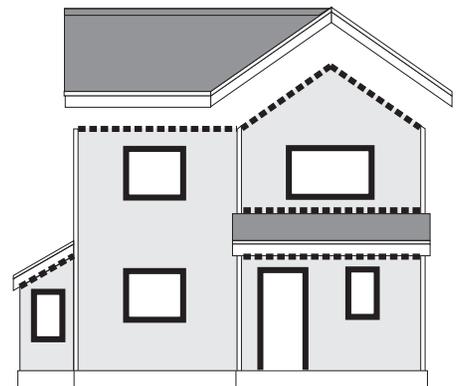
使用する長さで計算する部分(軒天下、屋根ぎわ)と1本もの※2で計算する部分(窓まわり)があります。

●長さ部分 m ÷ 3.8m = 本 → A

●本数部分 本 → B

合計(A+B) = 本

※2. 1本ものとは継いで使用しないもの。



②トリム

●長さ部分 m ÷ 3.8m = 本

窓下および窓上、軒天下等で本体を現場高さで調節するために、長穴部分を切り取る部分に使用します。



③出隅

使用する長さで計算します。

●長さ部分 m ÷ 3.0m = 本



④入隅

使用する長さで計算します。

●長さ部分 m ÷ 3.0m = 本



⑤スターター

●長さ部分 m ÷ 3.8m = 本



POINT

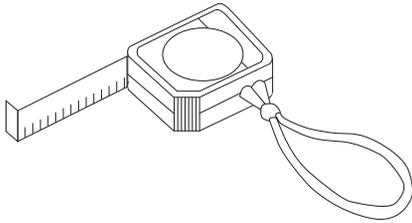
- ・必要に応じて、透湿防水シート、気密テープ、気密パッキン等を使用下さい。
- ・出隅・入隅をそれぞれ継いで使用する際は、あまり短いものは使用しないで下さい。出来栄を考え、割り付けをして下さい。

IV 使用する工具

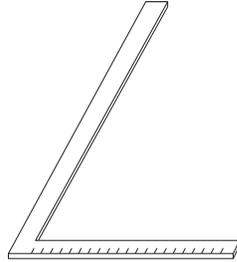
1 一般工具

寸法や水平を見るのに使用する工具

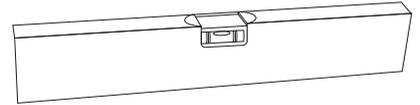
① 巻き尺



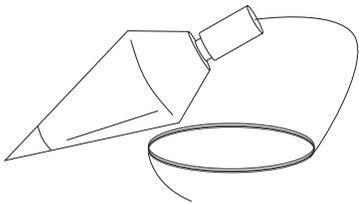
② さしがね(曲尺)



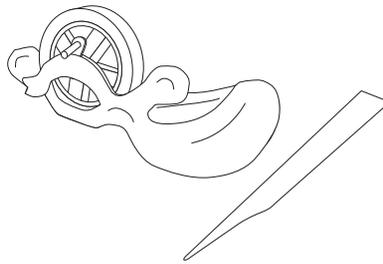
③ 水平器



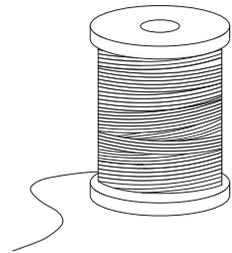
④ 下げ振り



⑤ 墨壺

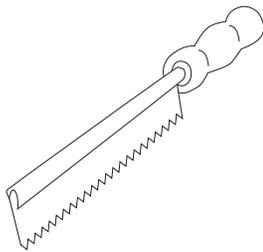


⑥ 水糸

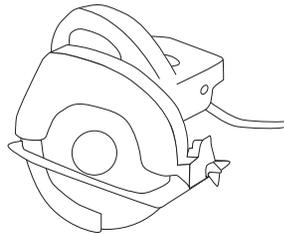


切断に使用する工具

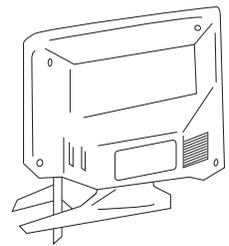
① 手鋸



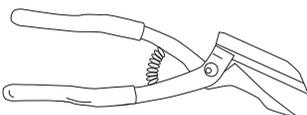
② 電動回転鋸



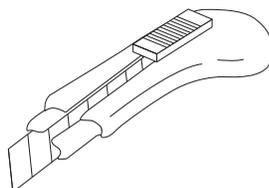
③ ジグソー



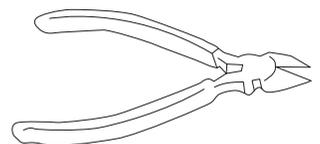
④ 万能はさみ・
金ばさみ



⑤ カッター

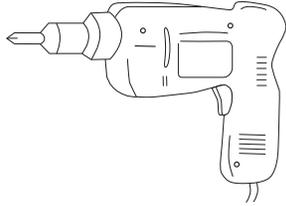


⑥ ニッパー

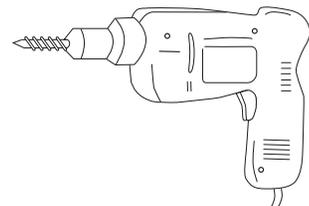


取り付けに使用する工具

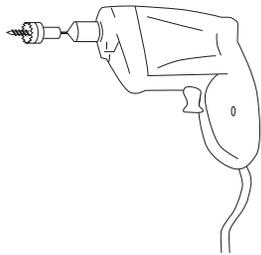
①電動ドライバー



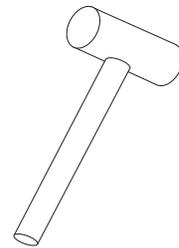
②ドリル



③ホールソー



④金槌・木槌



電動回転鋸について

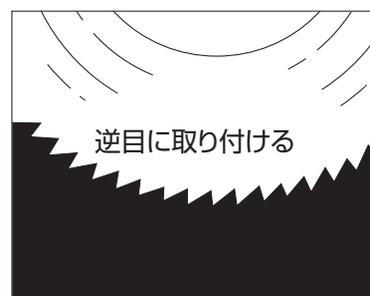
細かいピッチのプラスチック刃(プラスチックソー)を使用して下さい。回転時の衝撃を和らげるため、刃を逆目になるように取り付けて下さい。



気温が低い場合(10℃以下)は、ゆっくり動かして下さい。



刃こぼれのある刃は使用しないで下さい。

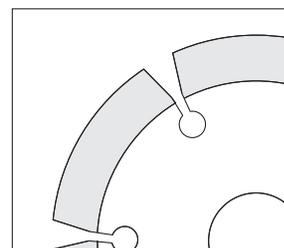


プラスチックソー

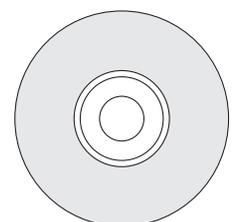
ゼオンサイディング® グレインはダイヤモンドホイールや砥石を使用しても容易に切れます。



電動工具の使用に当たってはそれぞれの取扱説明書に従いご使用下さい。また必要に応じて安全眼鏡、マスク、手袋などの安全保護具を使用して下さい。



ダイヤモンドホイール



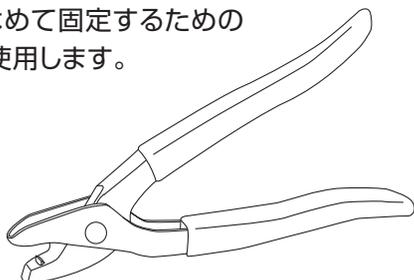
砥石

Ⅳ 使用する工具

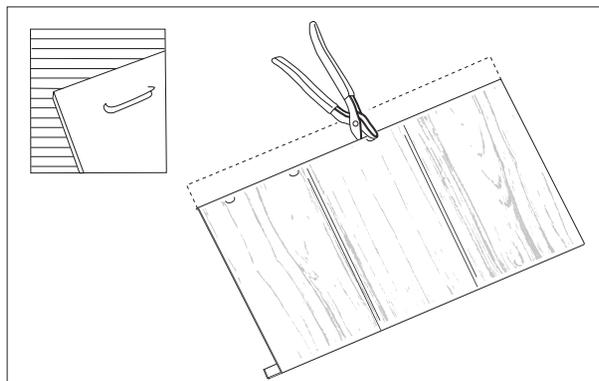
2 専用工具

① 切り欠きパンチ

トリムに本体をはめて固定するための突起を作るのに使用します。



本工具を使用の際は指を挟まない様、
ご注意ください。

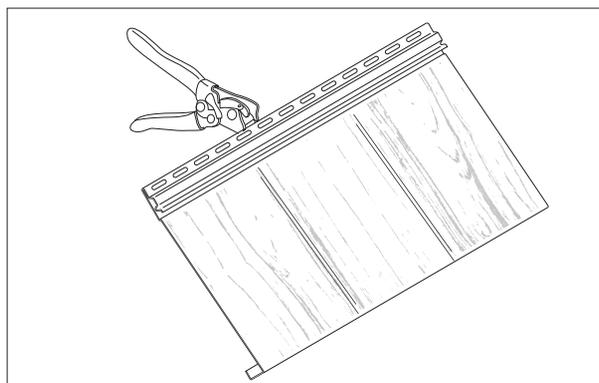


② 釘穴用パンチ

切断したサイディング材の切断部に釘を打ちたい場合や釘を打ちたい場所と長穴がずれている場合に長穴をあけるのに使用します。

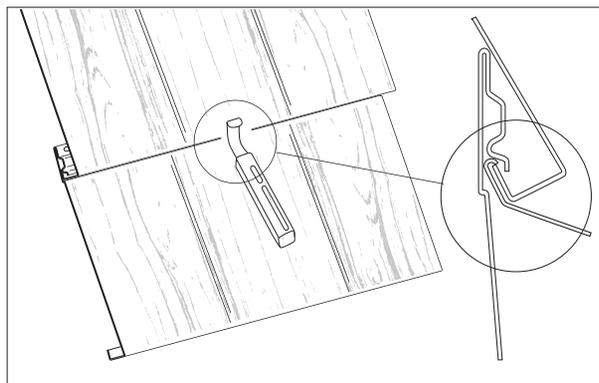
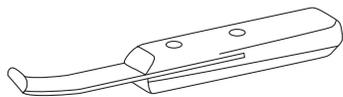


本工具を使用の際は指を挟まない様、
ご注意ください。



③ ジップ

取り付け済みのサイディング材を取り外したり、交換するときに使用します。

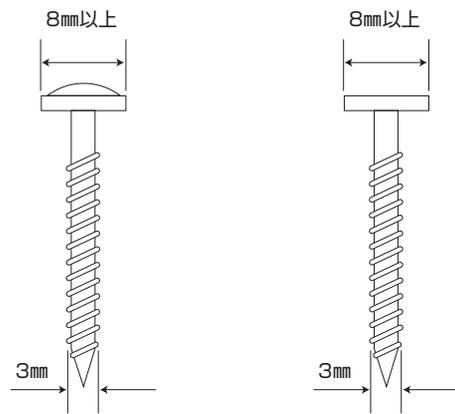


3 ビス・釘・ワッシャー

ビス・釘は強く打ちこみ過ぎず、ビス・釘がビス穴部(長穴)の折り返し表面に接する程度に留めてください。その後、必ず両手を添えて左右に力を入れ製品が長穴に沿って動くことを確認してください。

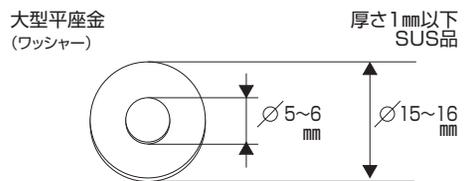
ビス、釘の選択

- ①頭の径が8mm以上のトラスかバインドのビス・釘で、下地の構造材にしっかり固定出来る十分な長さのものを使用して下さい。(p5製品仕様表に記載している専用ビスまたは一般的に「耐火野地板専用ビス」と称するワッシャー一体型のビスをお勧めします。)
- ②強風で剥がれる恐れがありますので、ビス首がクサビ状になっているコーススレッドビス(皿ビス)は使用しないで下さい。
- ③海岸沿いなど塩害のある地域ではステンレス製等錆び難いビス・釘を使用して下さい。
- ④本体、役物は303mmピッチ以内にビス・釘を施工して下さい。



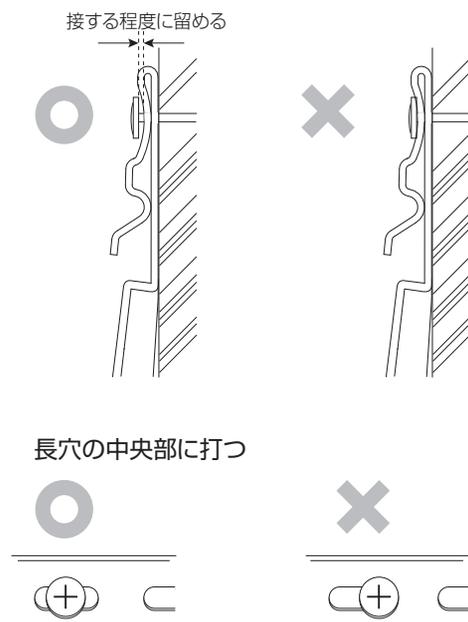
ワッシャーの選択

- ①ワッシャーは厚み1mm以下で内径5~6mmφ、外径15~16mmφの錆び難い材質のものかステンレス製を使用して下さい。
- ②ビス・釘はワッシャーに強く打ちこみ過ぎず、ワッシャーがビス穴部(長穴)の折り返し、表面に接する程度に留めてください。その後、必ず両手を添えて左右に力を入れ製品本体が長穴に沿って動くことを確認して下さい。



ビスの止めつけ方法

- ①ビス・釘は製品に対して必ず水平に留め、かつ強く打ちこみ過ぎず、ビス・釘がビス穴部(長穴)の折り返し表面に接する程度に留めて下さい。
- ②ビス・釘は出隅、入隅の最上部への施工の場合を除き、必ず長穴の中央部に施工して下さい。ビス・釘を強く打ったり長穴の端部に施工すると製品の伸縮の妨げになり、製品のゆがみ、変形、波打等の問題が発生します。



V 下地処理

1 既存壁又は下地構造の確認

ゼオンサイディング® グレインは、通常胴縁下地を必要とせず、直張りによる施工を標準としております。但し下地の条件によっては胴縁下地を行う場合もありますので、必ず事前に下地状態の確認を行って下さい。

- ① 既存壁又は下地構造の確認を十分に行なって下さい。ビス・釘の保持力が不十分な構造体には施工できません。その場合は**4**と同じ処理を実施して下さい。
- ② 外壁にクラックのある場合は、透湿・防水シートと気密テープ、シーリング等により下地の雨仕舞いをしっかりと行なって下さい。

2 障害物の撤去

- ① 雨樋は縦樋、取り付け金具を取り外し、また外灯やスイッチおよびそれらの配線は必要に応じ取り外しサイディング施工後に取り付けて下さい。
- ② 電気のメーターボックス、水道管、ガス管などを取り外す場合は専門の工事業者に依頼して下さい。
- ③ 高温になりやすい給湯器や配管まわりはケイカル板などの不燃材で囲って下さい。
- ④ 特に浴室からの排気口回りはサイディング裏面で結露を発生させる恐れがありますので、ダクトや壁の貫通部分等結露を防ぐために断熱並びに気密処理をしっかりと行って下さい。

3 付帯工事

- ① 軒天、鼻隠し、胴差し、戸袋など塗装が必要な箇所はサイディング工事前に行なって下さい。
- ② 窓枠などの交換、補修などの工事もサイディング工事前に行なって下さい。

4 不陸がある場合 (ビス、釘の保持力が不十分な場合も同様です。)

- ① 既存壁又は下地材の凹凸を調整する必要がある場合は胴縁を取り付けて下さい。取り付ける胴縁は、胴縁の表面がすべて同じ高さ(ツライチ)となるように設置して下さい。



胴縁に段差があると、本体や役物に歪みや凹凸が生じる場合があります。

- ② **ゼオンサイディング®** グレインは本来面材に施工するように設計された商品ですので胴縁には巾70mm×12mm以上のものを使用して下さい。※出隅、入隅、窓廻りは貫板を使用して下さい。
- ③ 胴縁の上に**ゼオンサイディング®** グレインを取り付ける際も、ビスは必ずビス穴(長穴)の中央部に留めて下さい。



胴縁の上の本体ビス穴(長穴)の端部にビス留めをすると、本体の伸縮を阻害して本体に歪みや変形が発生する場合があります。

- ④ 胴縁は開口部まわり、出隅、入隅、スターターの下地部となる部分等、役物の取り付け位置には必ず取り付けます。
- ⑤ 軒下のトリム及びJチャンネルの取り付け位置、並びに基礎付近のスターター取り付け位置に横胴縁を取り付けます。その他の壁には、縦胴縁を303mmピッチ以下で取り付けます。
- ⑥ 開口回りの胴縁が開口部より外側に出る場合は、Jチャンネルを加工して使用するか、板金加工にて胴縁の小口を隠して下さい。

5 防水工事

- ① **ゼオンサイディング®** グレインは製品の伸縮の妨げになる部位には、シーリングを一切使用しませんので、台風などの強風を伴う風雨の場合は特にサイディング裏面に雨水が浸入しやすくなります。新築の場合はむろんリフォームの場合にも透湿・防水シート(JIS A6111)、又はアスファルトフェルト(JIS A6005)を施工するなど、下地の防水処理はしっかりと行って下さい。
- ② 外壁部には透湿・防水シートを施工し、窓回りや換気口、ドアなど開口部回りは隙間が出来ないように気密テープでしっかりと気密処理を行い、雨水の侵入を防止する処理を行って下さい。
- ③ 施工する環境や室内外の気圧差が大きいなど、その条件によってはビスを通じて水が侵入する恐れがあります。その場合には透湿・防水シートの代わりにルーフシールド(透湿・防水・通気ルーフィング)など透湿・防水性のみならず、釘穴シール性にも優れたシートを使用して下さい。

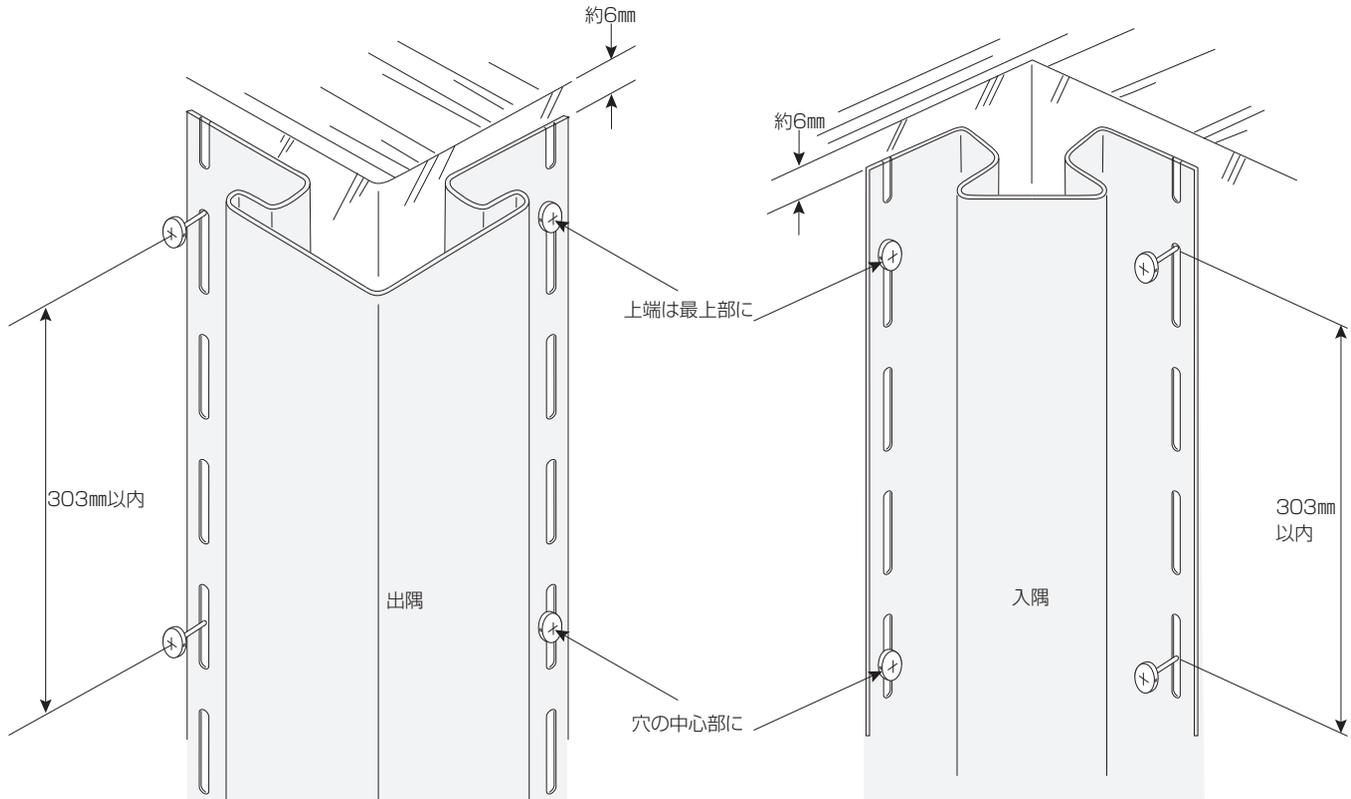
☆下地の防水処理は、しっかりと行って下さい。

☆胴縁は、必ず通気が可能となるように施工して下さい。

VI 施工方法／本体と役物

1 出隅と入隅の取り付け

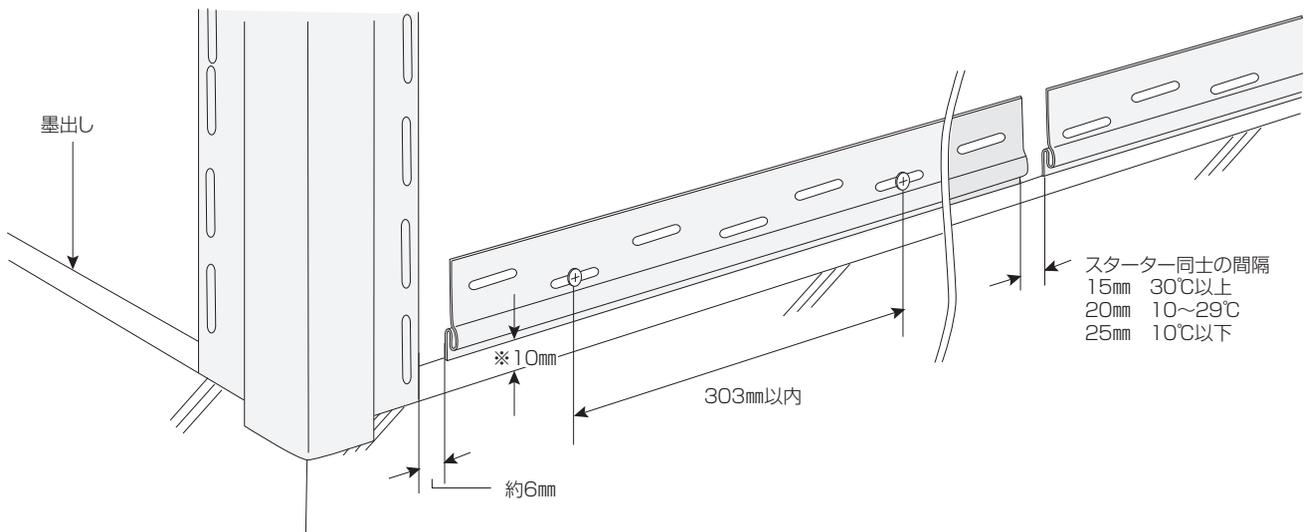
出隅と入隅は、壁の上部から約6mm離れた位置に取り付けます。その際、最上部の長穴には出隅が下に落ちないように長穴の最上部にビス打ちして下さい。その後は303mmピッチ以内で長穴の中央部にビス打ちして下さい。



2 スターターの取り付け

スターター取り付け位置に沿って、303mmピッチ以内で長穴の中央部にビス打ちして下さい。

基礎または水切りがある場合には、その水切りから上部10mmがスターターの下部になりますので、その部分に水平基準線として墨出しを行なって下さい。※10mm未満では本体をスターターに差し込めない場合があります。



POINT

役物のビスは、303mmピッチ以内で取り付ける

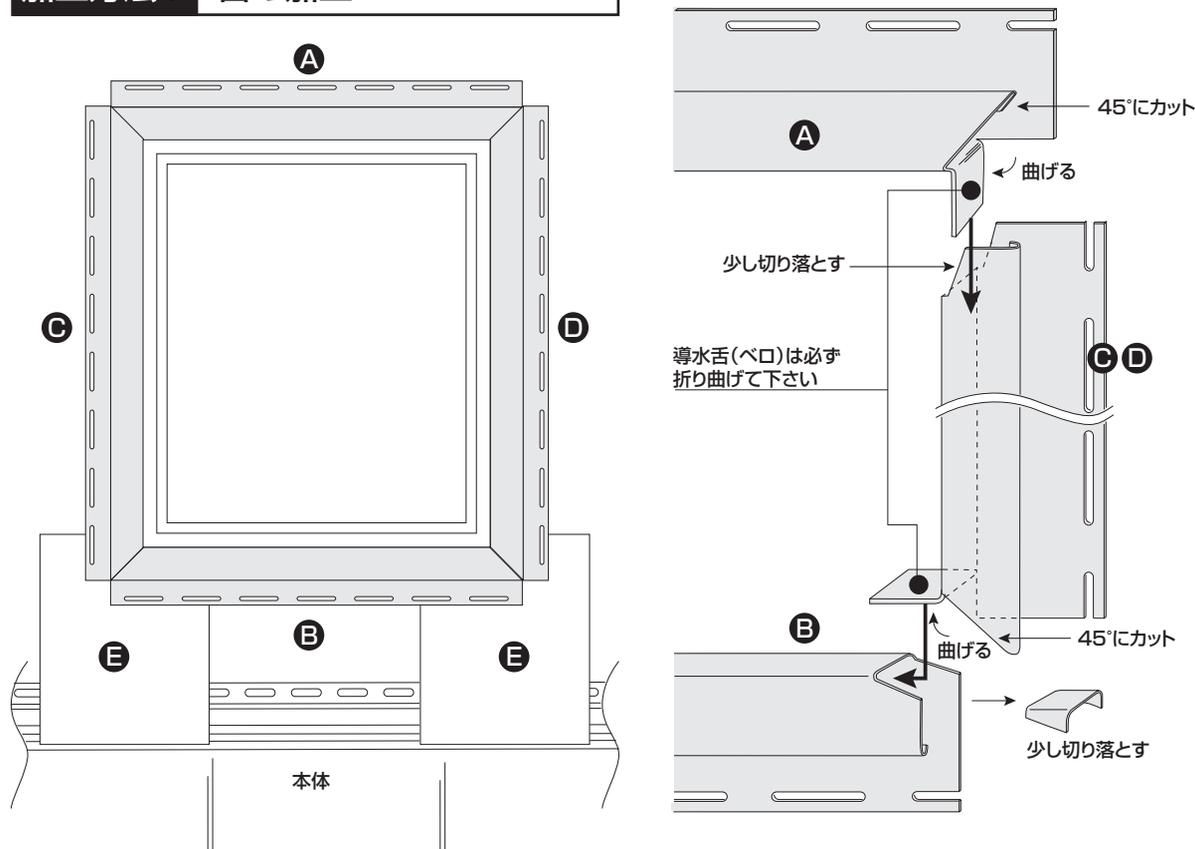
VI 施工方法／本体と役物

3 Jチャンネルの取り付け

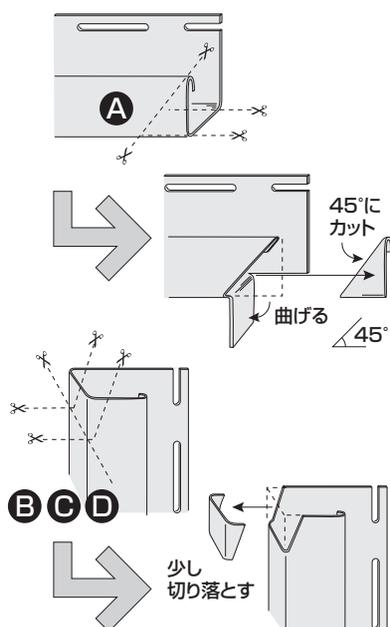
①開口部への取り付け

・窓枠やドアなど開口部まわりには、Jチャンネルを取り付けます。次のいずれかの方法で行ないます

加工方法1 留め加工



切り口(仕口)の加工



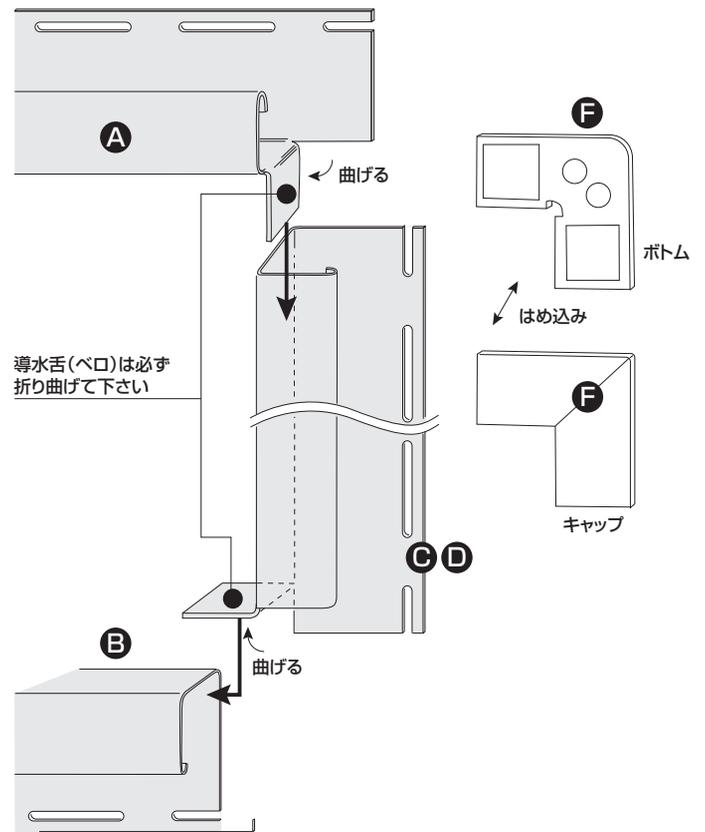
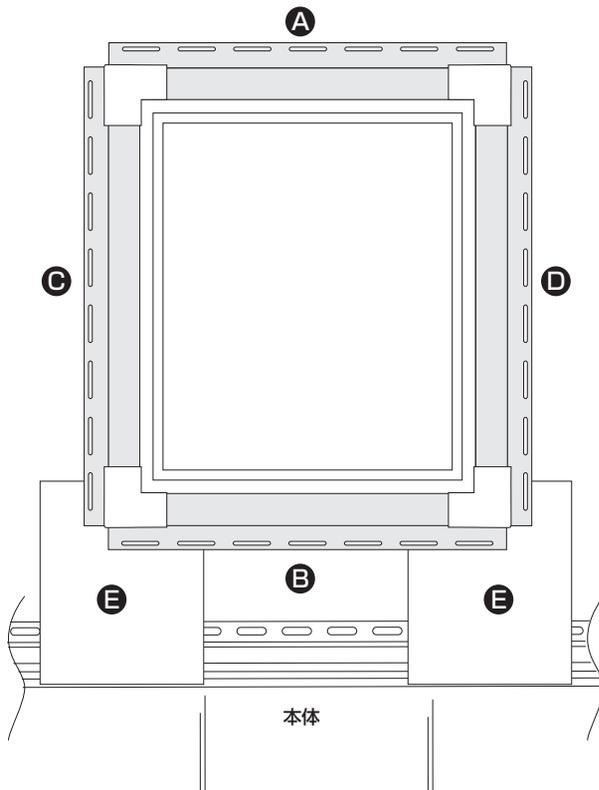
開口部上用Jチャンネル**A**の両端を45°にカットし、縦用Jチャンネル**C**、**D**の上端を**A**に差し込み、**C**、**D**の下端を45°にカットし、そこに下用Jチャンネル**B**の両端を差し込みます。**B**の両端は少しだけ切り落とします。

- 1) **A**の長さは開口部寸法+50mmとし、その両端25mmを図のように切り、三角形を切り取るとともに導水舌(ペロ)を折り曲げて下さい。折り曲げ部分は**C**、**D**の内側に差し込みます。
- 2) **C**、**D**の長さは開口部寸法+48mmとし、その上部を図のように少し切り落とし、**A**に差し込みます。**C**、**D**の下部は**A**の末端と同様に三角形を切り取り、**B**に差し込む導水舌(ペロ)を折り曲げて下さい。
- 3) **B**の長さは開口部寸法+46mmとし、その両端23mmを図のように少し切り取ります。端部を**C**、**D**に差し込みます。
- 4) **E**(導水板)はJチャンネルの下に取り付け、その最下端部がサイディング本体のビス穴部にかぶせるようにして下さい。**E**の材料は透湿・防水シート、薄いプラスチック板、アルミ板等を使用して下さい。

3 Jチャンネルの取り付け

加工方法2 コーナーキャップ

留め加工の口が開いてしまうような場合にはコーナーキャップをお勧めします。

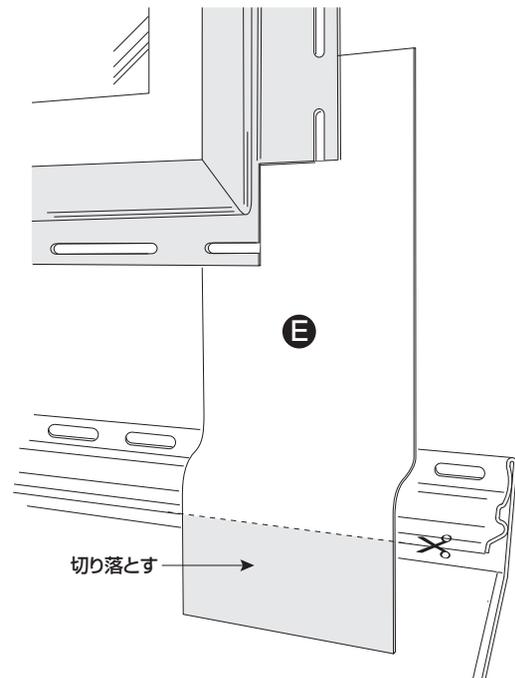


②導水板

窓回りのJチャンネル裏面に侵入した雨水を導水板により外部に排出させます。

●E(導水板)はJチャンネルの下に取り付け、その最下端部がサイディング本体のビス穴部にかぶせるようにして下さい。

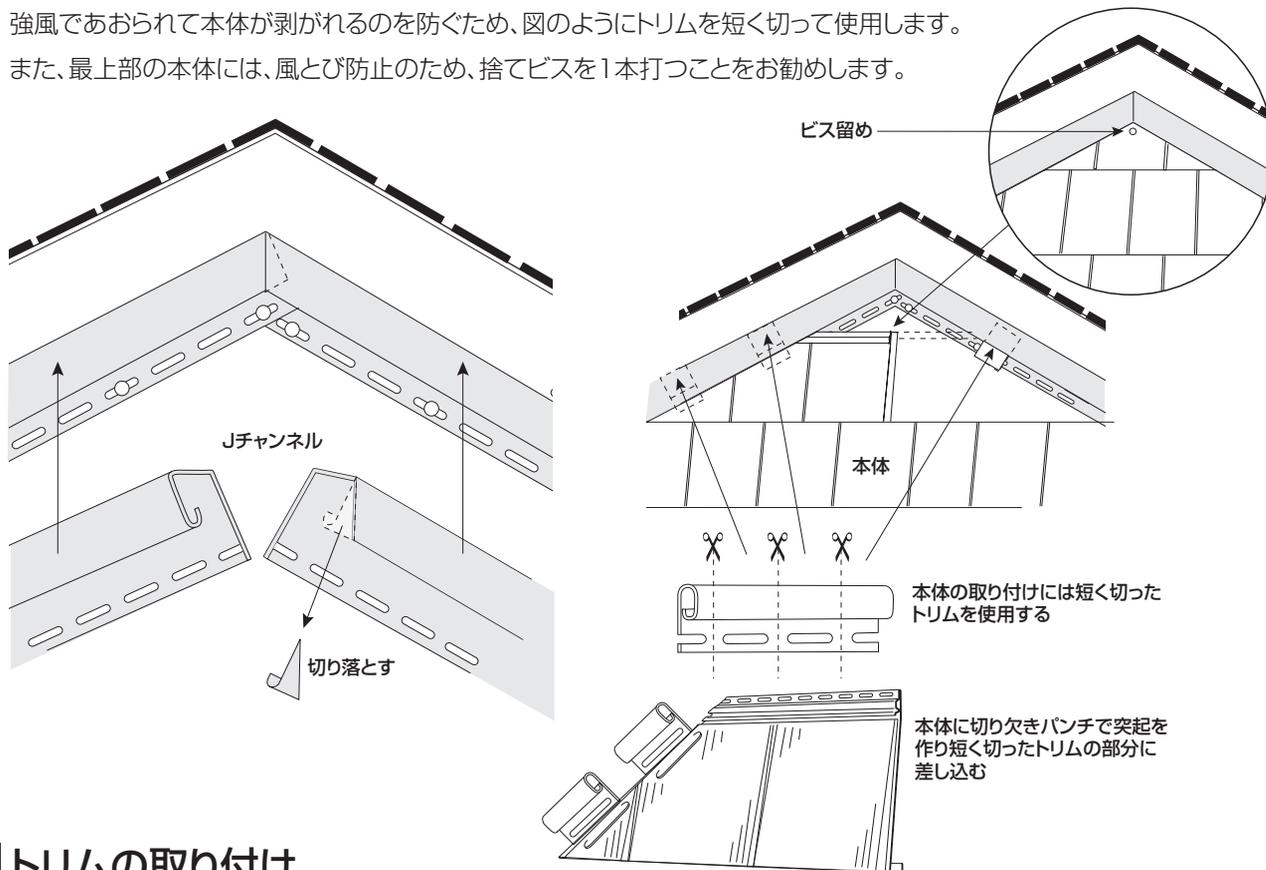
●Eの材料は透湿・防水シート、薄いプラスチック板、アルミ板等を使用して下さい。



VI 施工方法 / 本体と役物

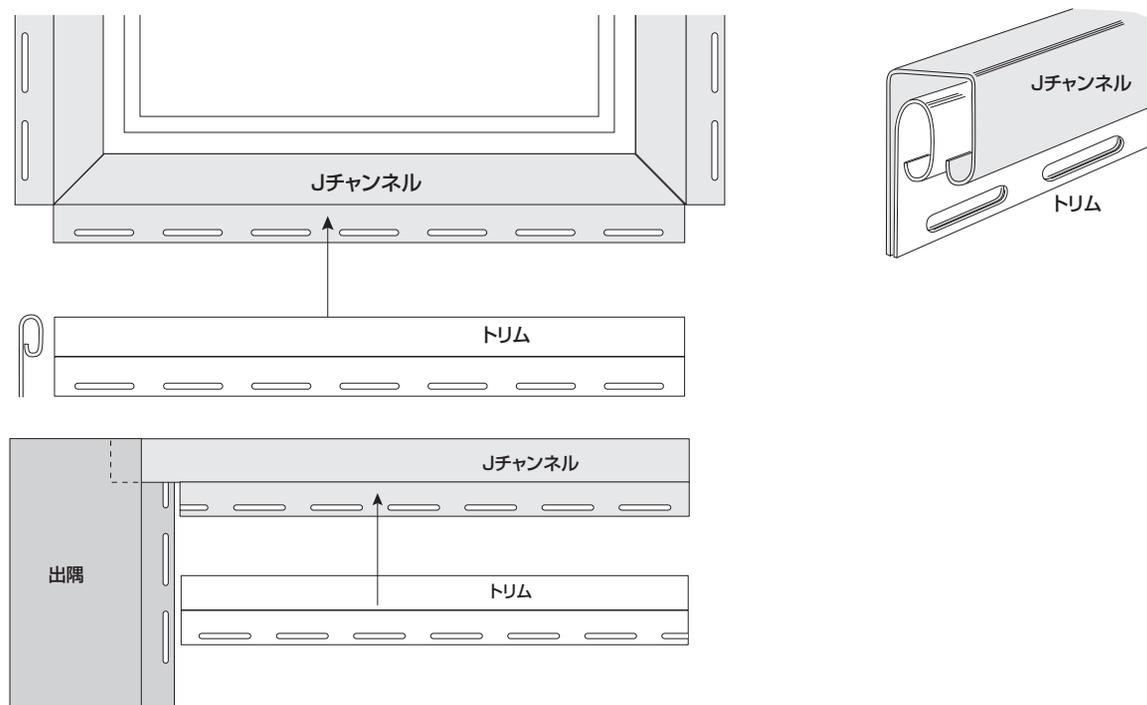
③最上部への取り付け

強風であおられて本体が剥がれるのを防ぐため、図のようにトリムを短く切って使
 います。また、最上部の本体には、風とび防止のため、捨てビスを1本打つことをお勧めし
 ます。



4 トリムの取り付け

水平軒下、窓などの開口部など本体を途中で切断して納める部分にはトリムを必ず使
 用します。本体の取り付けはP20開口部下の取り付けをご参照下さい。



5 本体の施工

本体は下から上に貼っていきます。最初の本体は、スターターの溝にはめ込み、しっかりと固定して下さい。

出隅や入隅、Jチャンネルなどの接合部は施工時の気温によって間隔を変更して施工して下さい。

直張り施工の場合、ビス留めのピッチは303mm以下として下さい。

胴縁下地を必要とする場合は、胴縁のピッチを303mm以下として下さい。

POINT

- ①ビス・釘はビス穴に強く打ちこみ過ぎず、ビス・釘がビス穴部の折り返し表面に接する程度に留めて下さい。その後、必ず両手を添えて左右に力を入れて動かすと、左右に製品本体が長穴に沿って動くことを確認して下さい。



動かないときは、ビス・釘の打ち込み過ぎです。必ず、調整を行って下さい。

また、外気温に応じて出隅と本体の間に図のように適度な間隔を空けて下さい。

- ②本体を左右に重ねる際は、左右の本体のビス穴の縁と縁の間に外気温に応じて図のように適度な間隔をあけて下さい。

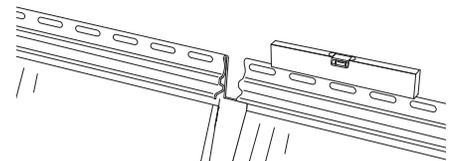


塩化ビニル樹脂製の本製品は気温の上下により、伸縮を繰り返しますので、間隔を開けない場合、本体の反り返りなどの不具合を生じることがあります。



ゼオンサイディング® グレインは樹脂製ですので温度による伸縮があります。例えば寒冷地のように夏場の外気温が35℃、冬場が氷点下10℃位になる場合、本体の真物(長さ1,543mm)で夏場と冬場の伸縮が約8mm(約0.5%)あります。従って施工する時期や外気温にあわせて図に示すように本体の重ね部の間隔を開けて下さい。

- ③2～3段ごとに本体上部に水平器をあて、本体が水平に施工されているかどうかを必ず確認して下さい。



- ④本体を上下に嵌合させる際は、上と下の本体がしっかりかみ合うまで一旦上の本体を下から上に向かって押し上げて下さい(図1～図3)。次に、上の本体を無理に引っ張ったり押し付けたりせず、自然に本体の下端が下の本体の上端に乗るように置いて下さい(図4)。その後、本体の取り付け位置が、上下左右とも定まってからビスを留めて下さい。

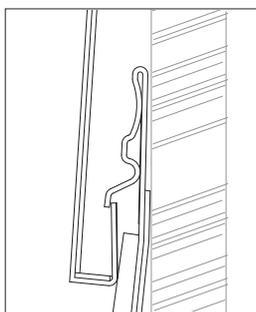


図1.パネルの位置を調整する。

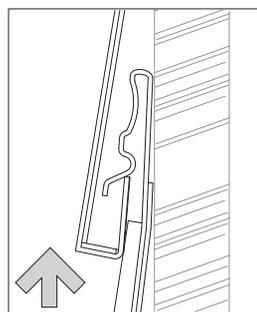


図2.ロックをかみ合わせる。

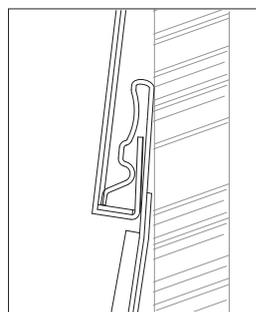


図3.上向きに押しつけてしっかりかみ合わせる。

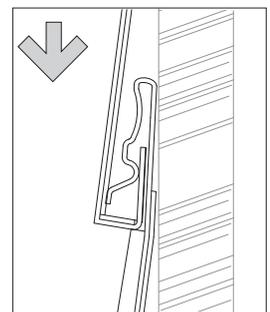
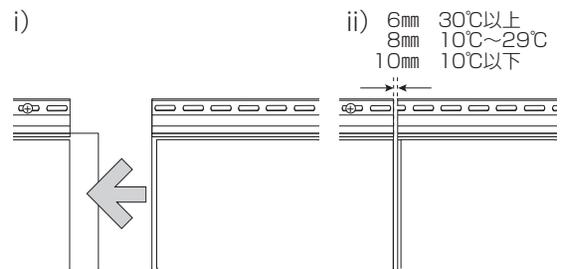
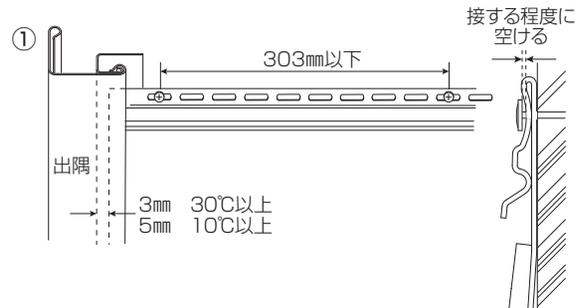


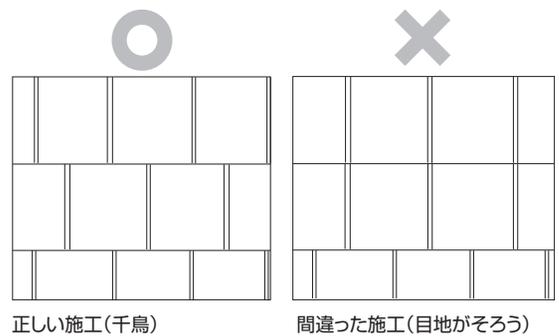
図4.上のパネルが下のパネルの上に乗るようにする。



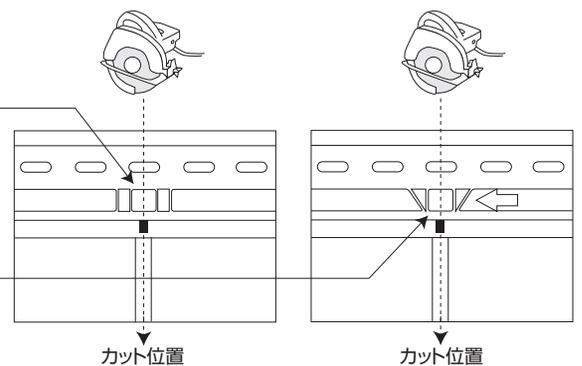
VI 施工方法／本体と役物

6 重ね張りの割り付けとビス留めの補充

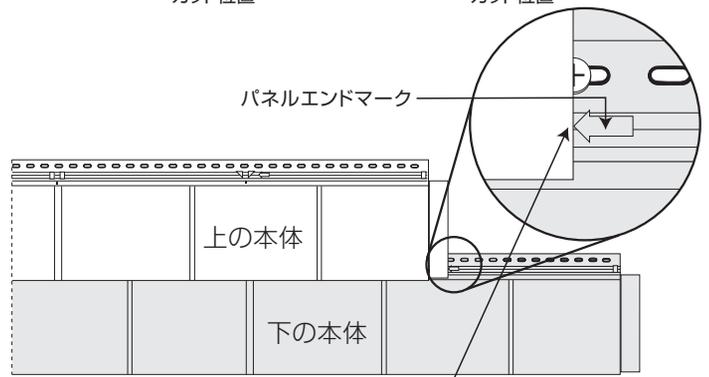
本体をバランスよく千鳥張りにするため、以下の手順をよくご確認ください。



グレイン本体には、約255mmピッチで「カットマーク」□ □ と ▽ ▽ が交互に設けられています。



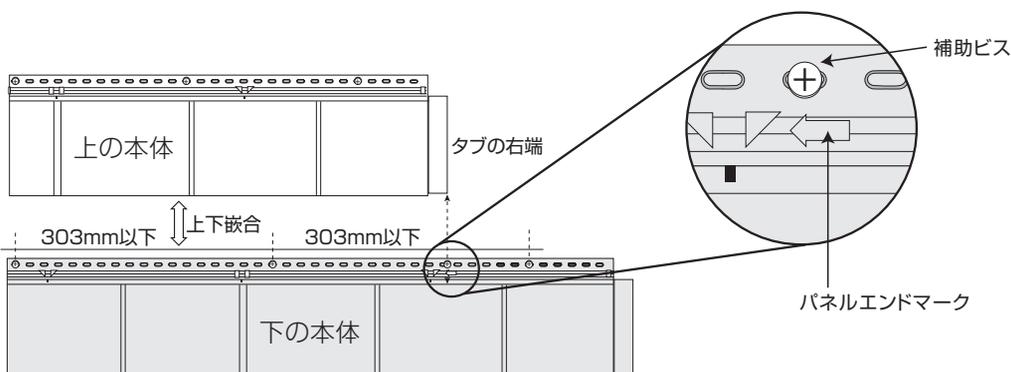
- ①最初の列を張り終わり、その上に新しい列を施工するときは、本体の「カットマーク」の間でカットした部材を使用して下さい。
- ②上に来る本体の右端(タブの端)が、必ず下の本体の「パネルエンドマーク」の矢印先(⇐⇒)の上に来るようにして下さい。



パネルエンドマークの矢印の先は、グレイン本体のタブの右端に来ます。

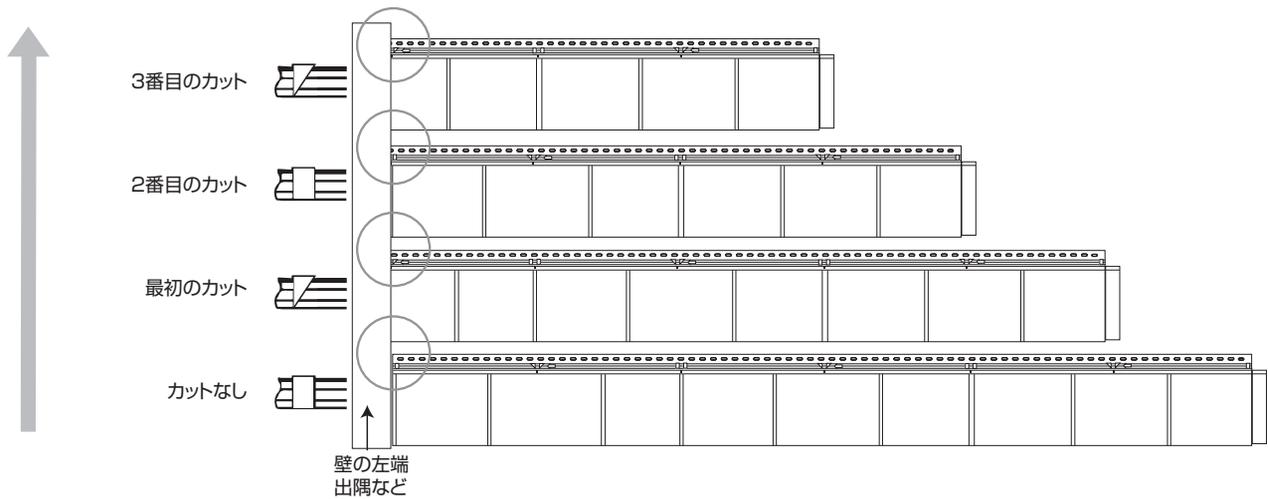
- ③この時下の本体のパネルエンドマークの付近にビス留めがされているか、必ず確認して下さい。そこにビス留めされていない時は、必ずビス留め(1本)を補充してから、上の本体を重ね張りして下さい。

! パネルエンドマーク付近にビス留め補充しないと、下の本体の伸縮・膨張により、上の本体重ね部分などに膨らみや歪みが発生する場合があります。



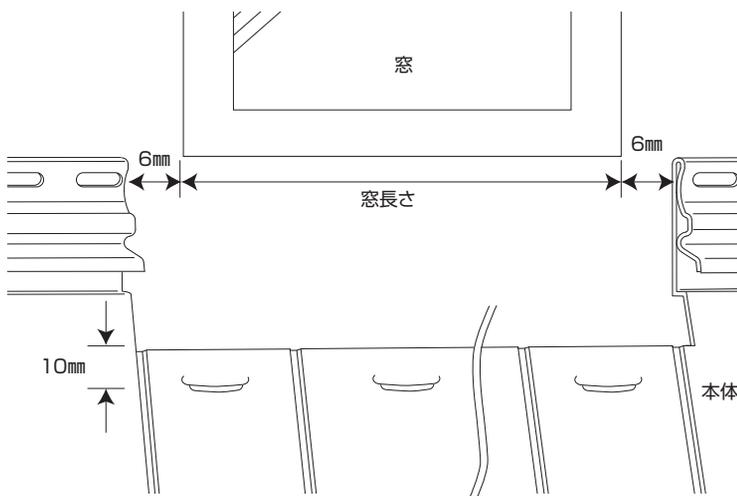
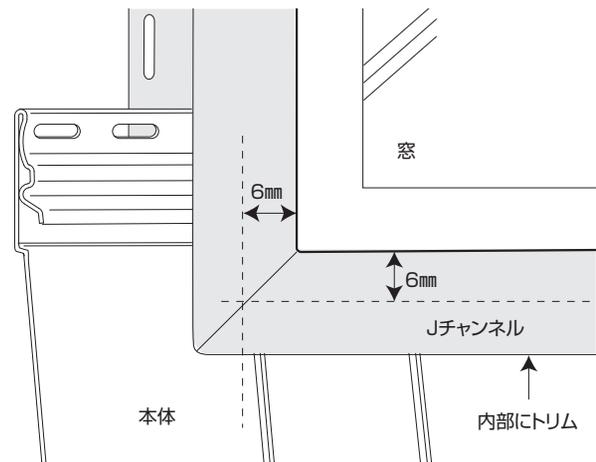
④本体を下から上方向に取り付けていくときは、それぞれの本体の左端部のカットマークが、四角□□の上には三角▽▽が、三角▽▽の上には四角□□が、というようにそれぞれ違うマークが交互の順番に来るようにして下さい。

POINT カットマークを交互にすると、本体を自然な千鳥割り付けに配列できます。



7 開口部下への取り付け

- ①開口部下への取り付けは、開口部寸法+6mm下側に印をして切断します。
- ②切断した部分に切り欠きパンチでリブ間に1ヶ所以上で爪を作り、Jチャンネル内部に取り付けたトリムに差し込みます。



POINT 爪をトリムにパチンという音がするまで押し込み、トリムに爪が引っかかっていることを確認して下さい。

! 爪がトリムにしっかりと引っかかっていないと、本体がずれ落ちたり、風で外れたりする場合があります。

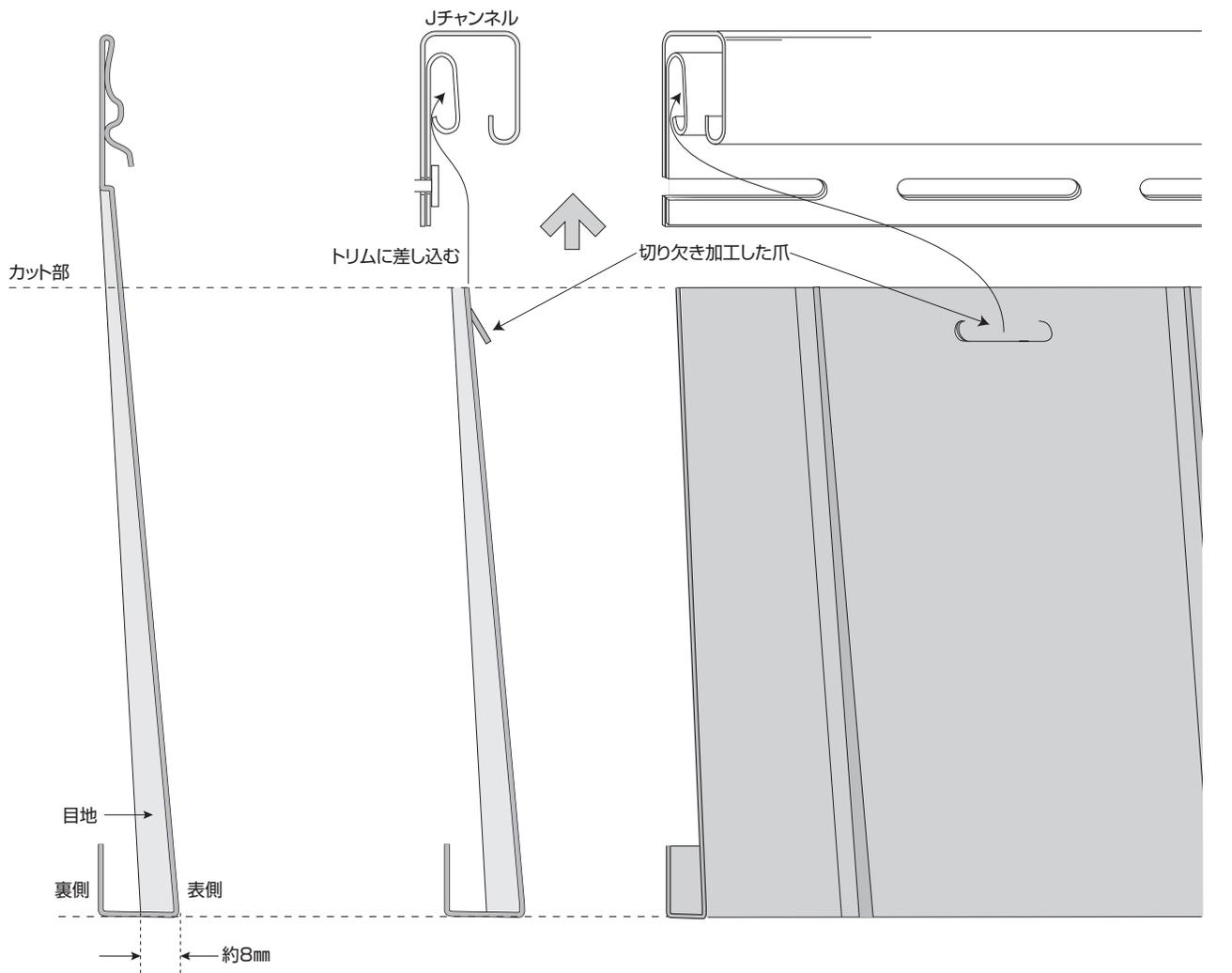
※本体のカット位置によってはトリムに入らない場合があります。その場合は、P.22をご参照下さい。

VI 施工方法／本体と役物

8 開口部下及び水平軒下への取り付け

- ① 本体をカットする位置により、本体の取り付け方が変わります。
- ② 開口部の上下には、Jチャンネルとトリムで本体を納めます。
本体がトリムに嵌合していることを確認して下さい。

A カットした本体に爪を切り欠き加工して、トリムにはめ込む場合

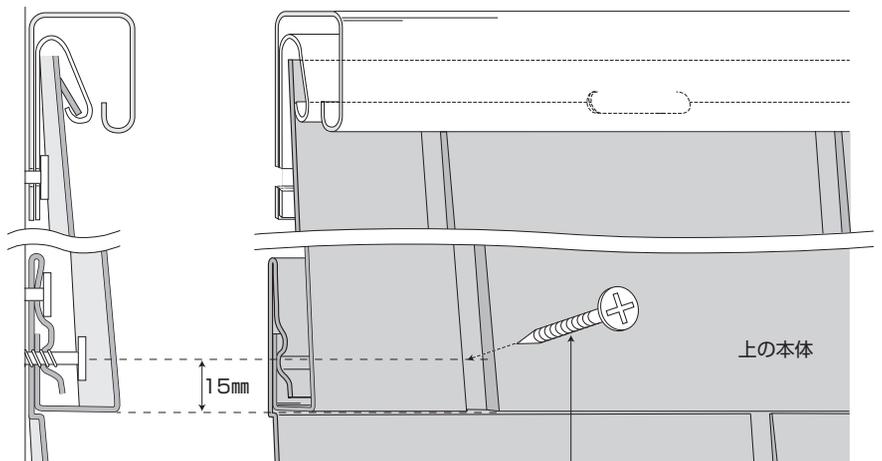


〈はめ込み後〉

本体の切り欠き加工した爪をトリムにはめ込み後、本体の既成目地とトリムの取合い部に目地幅より頭径の小さいビスを本体1枚につき1ヶ所留めて下さい。



本体の爪がトリムにしっかりと差し込まれていないと風などで本体が外れる場合があります。



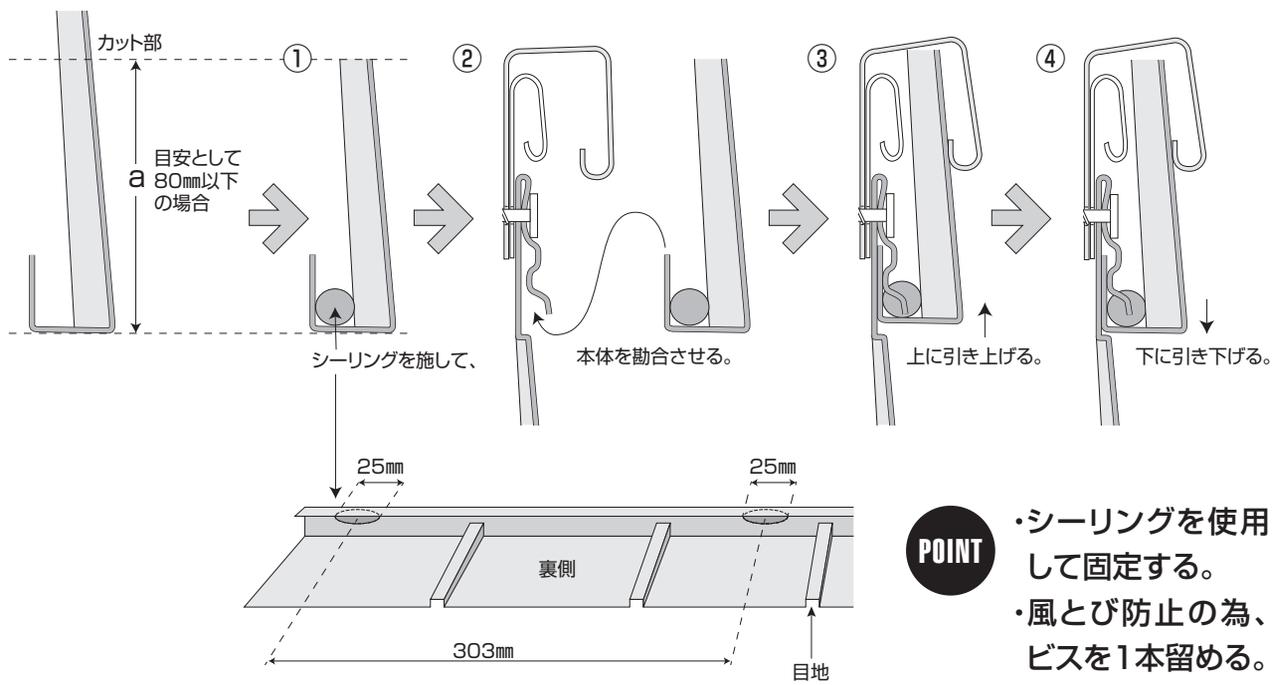
ビスで風とび防止する

B 本体がトリムに入らない場合

本体裏側には既存目地がありますので、本体カット部材がトリムに入らない場合は、以下の手順で取り付けます。

- ①上の本体の嵌合部内側にシリコン系シーリングを施す。
- ②カットされた上の本体を下の本体に嵌合する。
- ③上の本体をやや上に引き上げ、シーリングになじませる。
- ④上の本体を引き下げ、下の本体の上端に載るようにする。
- ⑤既存目地の凹部に、目地幅より小さい頭径のビスを、本体1枚に1ヶ所留める。

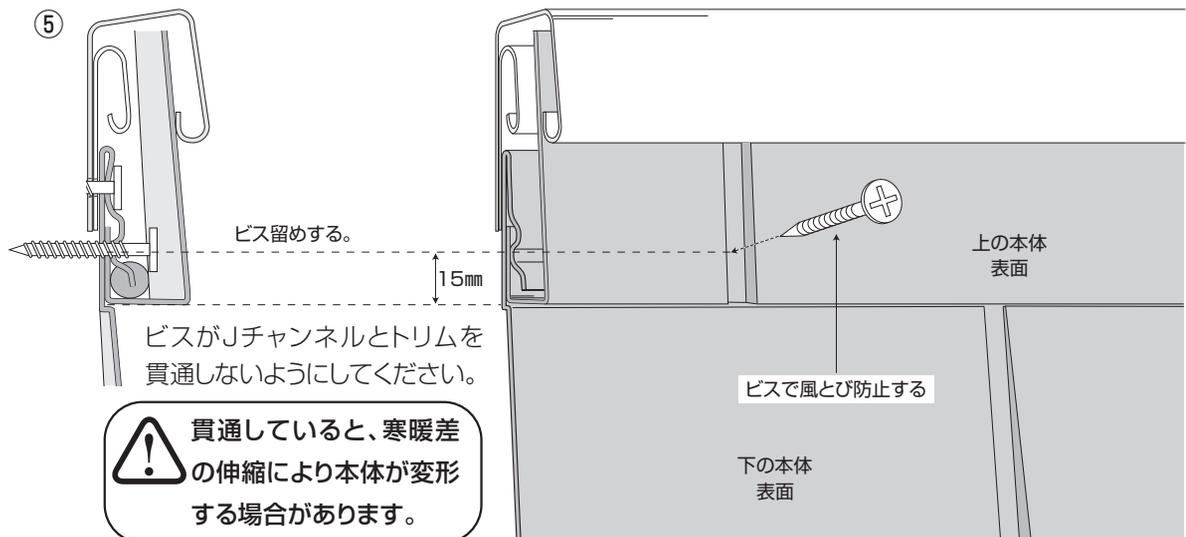
※この場合も、トリムは本体のバタつき防止のため、本体とJチャンネルのスペーサーとして設置して下さい。



POINT

- ・シーリングを使用して固定する。
- ・風とび防止の為、ビスを1本留める。

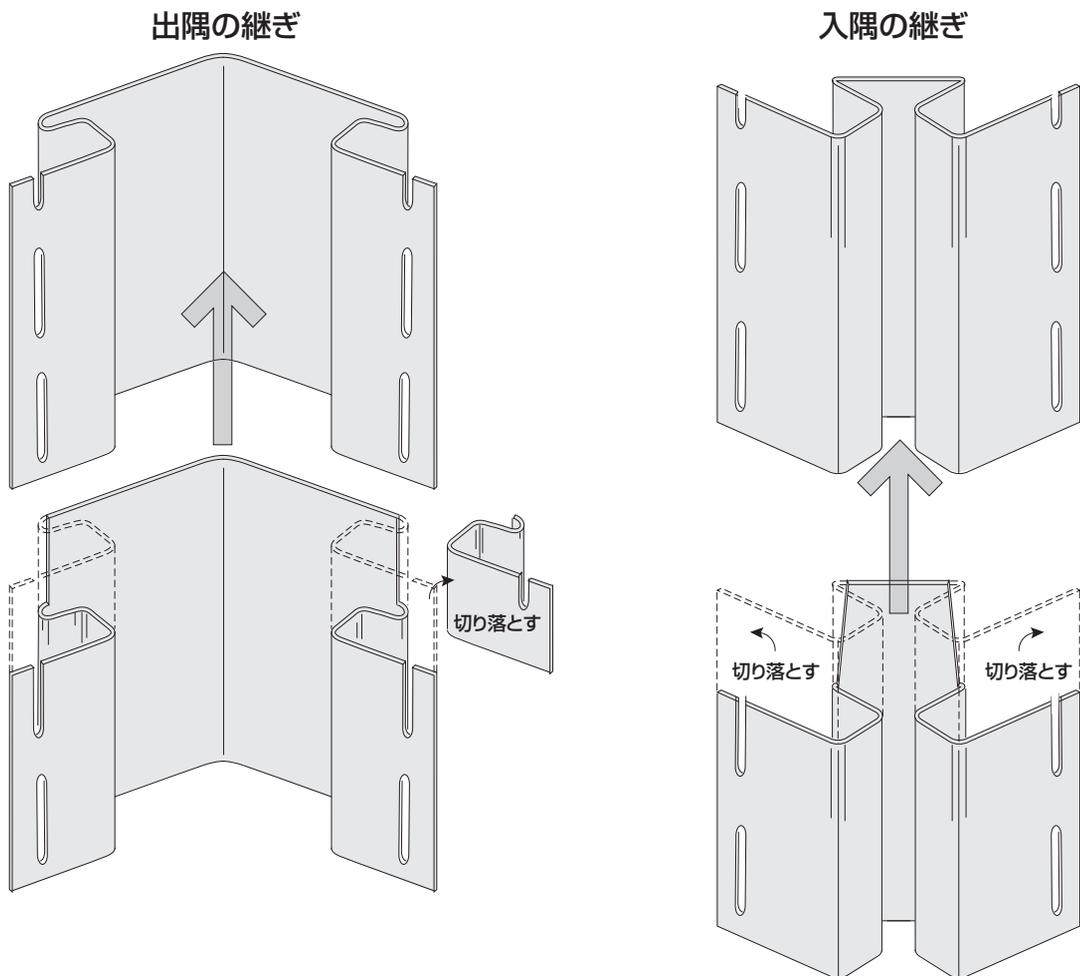
シーリングは上の本体嵌合部内側に幅25mmで303mmピッチを目安として施して下さい。



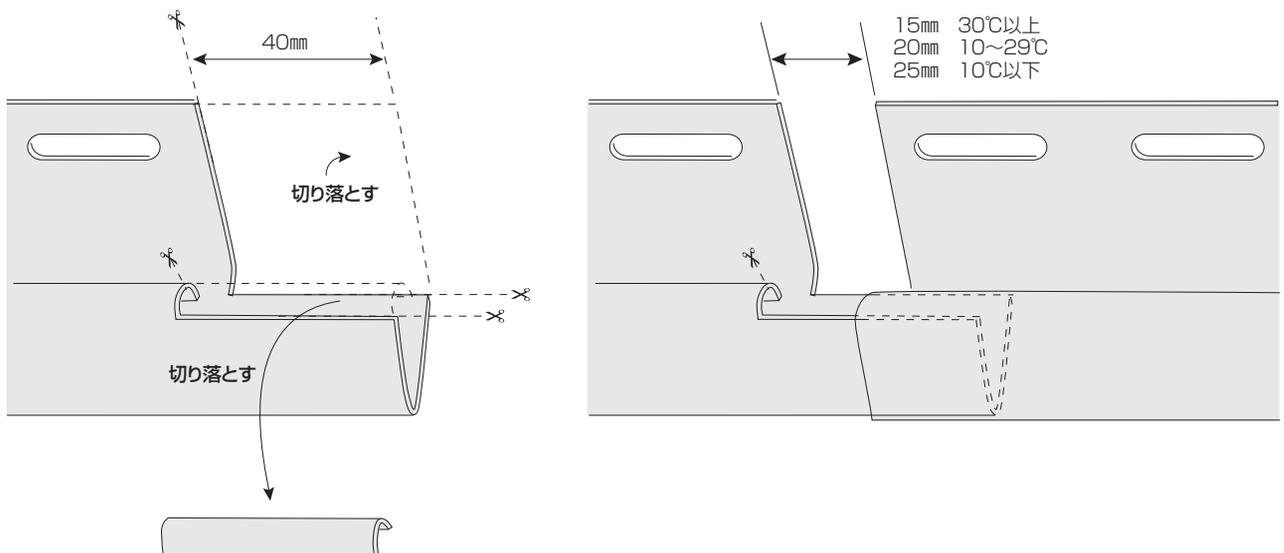
! 貫通していると、寒暖差の伸縮により本体が変形する場合があります。

Ⅶ 特殊加工

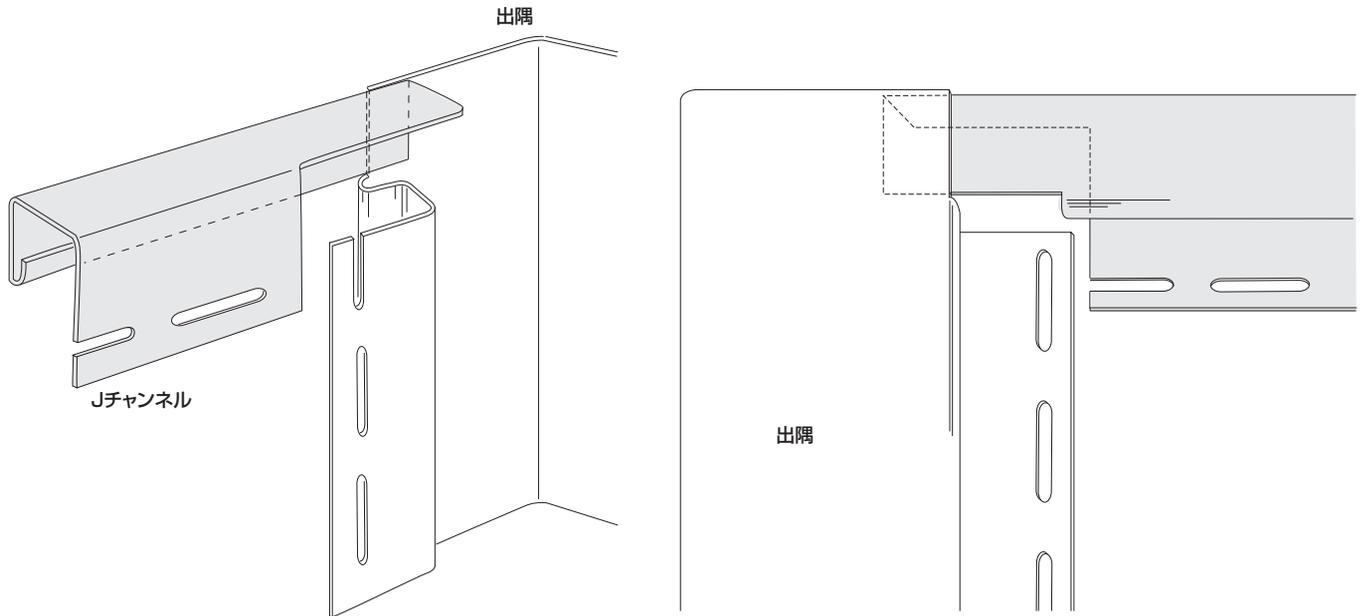
1 出隅及び入隅の継ぎ



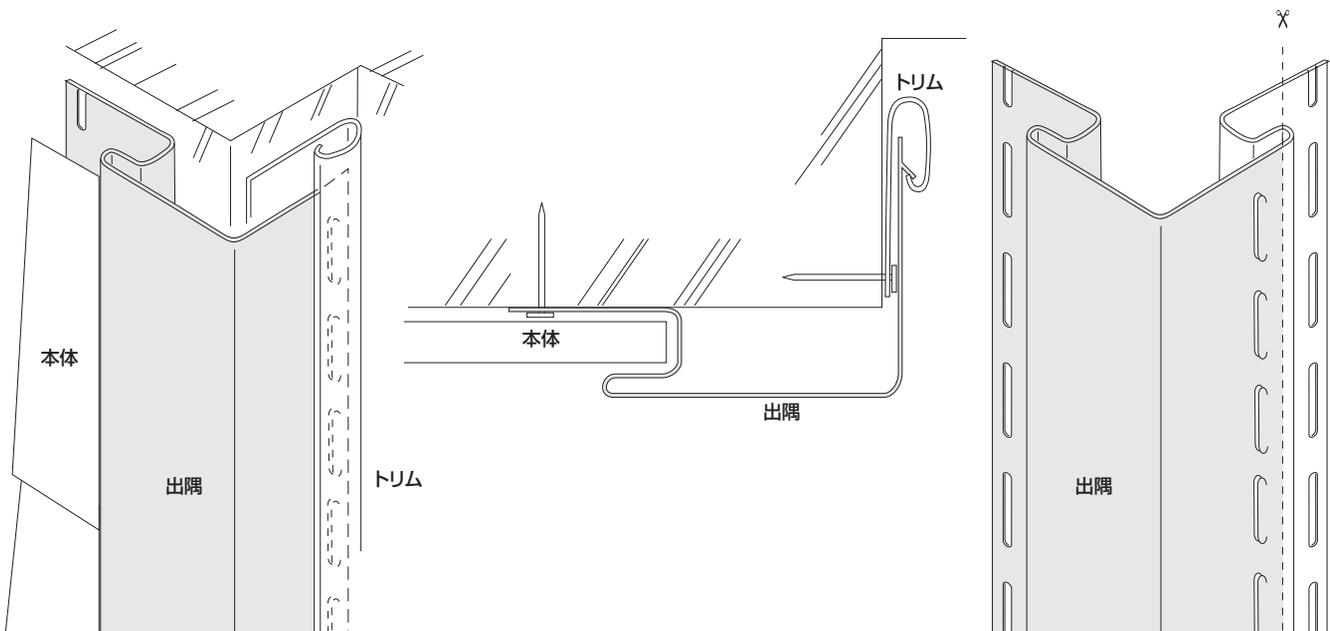
2 Jチャンネルの継ぎ



3 出隅とJチャンネルの継ぎ



4 出隅の片方を切断してトリム^{*}で納める

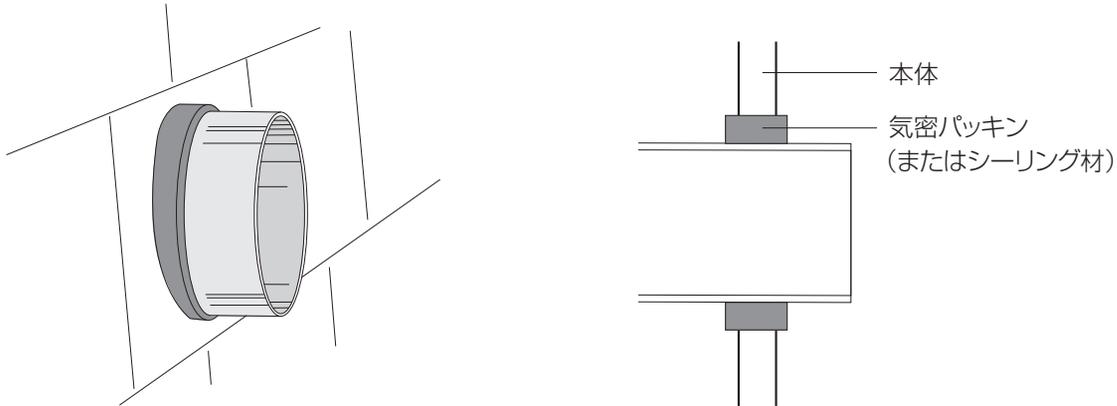


※ホワイトのトリムのみ使用可能です。ホワイト以外のトリムは耐候処理していません。

VII 特殊加工

5 気密パッキンの使用方法

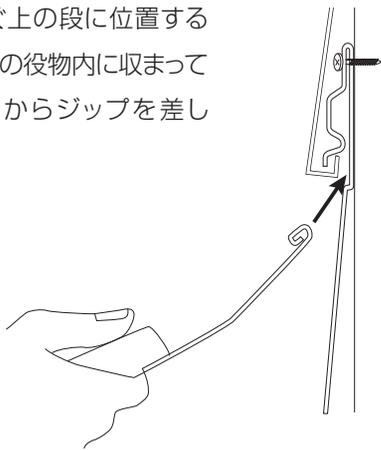
配管やフード回り等の隙間は気密パッキンまたはシーリング材で隙間を防ぎます。
気密パッキンおよびシーリング材は、経年変化により交換、打ち替えが必要な場合があります。



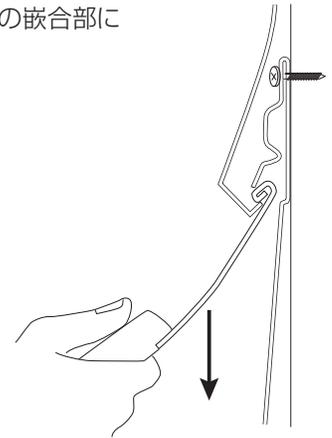
VIII サイディング材の取り替え

1 本体の破損などで交換する場合は、次の手順で破損した本体を取り外して簡単に新しい本体と交換する事が出来ます。

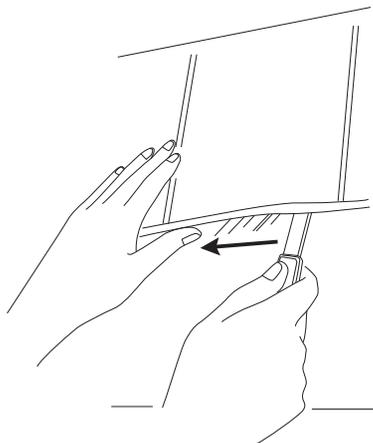
①取り替える直ぐ上の段に位置する
本体のどちらかの役物内に収まっている
最端部下からジップを差し
込みます。



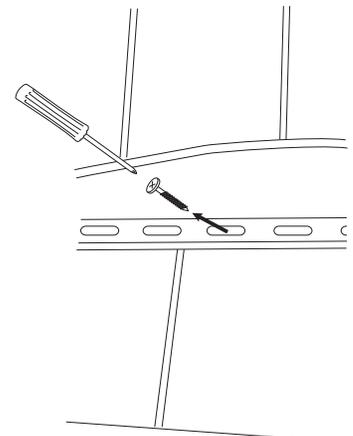
②ジップの先端を本体下部の嵌合部に
引っ掛けます。



③そのままジップを左右どちらかにすべらせて嵌合を
はずします。



④上にある本体をめくりながらビスを外して本体を取り
外した後に新しい本体を取り付けます。はめる時も外した
時と同じ要領でジップを使用しながら本体の嵌合を
行います。



ゼオンサイディング® グレイン施工自己診断チェックリスト

現場名 _____ 邸 _____ 日付 _____ 月 _____ 日
 チェック者名 _____

1. 施工に関して		チェック欄
・ビス、釘は正しいものを使用しているか		<input type="checkbox"/>
・ビス、釘を締めすぎていないか、ビス穴の中央に打たれているか		<input type="checkbox"/>
・ビス、釘のピッチは適切か(303mm以下)		<input type="checkbox"/>
・塩害が想定される場合、ステンレス製等さび難いビス・釘を使用したか		<input type="checkbox"/>
・本体同士の嵌合は甘くないか		<input type="checkbox"/>
・下地の防水処理は、適切に行われたか		<input type="checkbox"/>
・サイディングの小口は綺麗に処理されているか		<input type="checkbox"/>
・高温部分にサイディングが接触していないか		<input type="checkbox"/>
・長手方向の重ねシロ間隔は適切か(外気温に応じたビス穴の縁と縁の間隔を守っているか)		<input type="checkbox"/>
・必要以外の部分にシーリングを使用していないか。		<input type="checkbox"/>
2. 品質保証に関して		
・保証内容は	①納入時の「変形、割れ、欠け、異常変色」であることを理解したか	<input type="checkbox"/>
	②通常気象条件下において「均等に日光や風雨にさらされた結果生じる著しい剥離、剥落、部分的変退色」であることを理解したか	<input type="checkbox"/>
	③保証対象は「グレイン本体のみ」であることを理解したか	<input type="checkbox"/>
・免責事項を正しく理解したか		<input type="checkbox"/>
・お施主様に、「品質保証」の内容を正しく説明、理解して頂けたか		<input type="checkbox"/>
・特に、天変地異(地震、竜巻、突風、雹、霰、落雷、洪水、落石等)、火災、落氷などによる不具合(損害、割れ、はがれ)は免責事項となることを理解したか		<input type="checkbox"/>
3. その他		
・廃材は正しく、産業廃棄物として処理したか		<input type="checkbox"/>
・急激な温度変化に伴う音鳴について正しく説明、理解して頂けたか		<input type="checkbox"/>
・落雪や氷塊が予想される場合の養生について説明、理解して頂けたか		<input type="checkbox"/>

品質保証書は、工事業者様が本製品を使用した工事完了後30日以内に、最新の施工マニュアル及び自己診断チェックシートに基づき正しい施工がされたことを必ず確認の上、「ゼオンサイディング® グレイン工事証明書」に必要事項を記入押印し弊社に郵送され、弊社がこれを承認し押印した後に発行するものとします。また、弊社で押印後、元請会社様に正書を返送しますので大切に保管して下さい。詳細につきましては、弊社の「ゼオンサイディング® グレイン工事証明書」をお取寄せの上、ご確認下さい。

このページをコピーしてご使用下さい

ZEON

ゼオン化成株式会社

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル) TEL.03(5208)5134 FAX.03(5208)5295
北海道連絡窓口 〒060-0032 札幌市中央区北2条東1-2-10(日宝北2条ビル) TEL.011(222)1150 FAX.011(231)6686
ゼオン化成ホームページ <http://www.zeonkasei.co.jp/>

- 本資料記載の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承下さい。
- 本資料からの無断転載を禁じます。
- ゼオンサイディング®** は日本ゼオン(株)の登録商標です。
- 「ZEON」は日本ゼオン(株)のハウスマークです。
- 「GRAYNE®」は米国ボラル社の登録商標です。